



寒い日には
ホットココア♡



はぐ便り

2022年
11月号
【第98号】

「子どもが言うことを聞いてくれない」「何度言っても約束を破る」…。誰もが子育てをしていると悩む問題ですね。今回は、「子どものしつけ」について一緒に考えましょう！

▶▶ さて、これは「しつけ」？



- ◆言葉で3回注意したけど、言うことを聞かないので叩いた。
- ◆大切なものにいたずらをしたので、長時間正座させた。
- ◆他人の物を取ったので、お尻を叩いた。
- ◆宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった。



「しつけ」と称して、わが子にこんなことをした覚えのある人はいませんか？日本には、「しつけ」のために子どもを叩くことはやむを得ない」という意識が根強く残っています。しかし、これらはすべて「体罰」であり「しつけ」ではありません。

「しつけ」とは、「子どもの人格や才能を伸ばし、社会において自立した生活が送れるように、子どもをサポートして社会生活性を育む行為」とされています。

体罰によって子どもの行動が変わったとしても、それは、叩かれた恐怖心によって行動した姿であり、自分で考えて行動した姿ではありません。子どもの成長の助けにならないばかりか、「落ち着いて話を聞けない」、「感情をうまく表せない」など心身の発達に悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。子どもの健やかな成長・発達のために体罰は必要ないのです！

▶▶ じゃあどうすればいいの？ そんなことを言われても…どうしたらいいか困る人はいませんか？しつけのポイントをいくつかご紹介します。できることから少しずつやってみませんか？



① 子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう！

子どもと相談しながら、どうしたらよいかを一緒に考えましょう。

さっそくやってみよう！

② 「言うことを聞かない」にもいろいろな理由があります！

「イヤだ!」というのは子どもの気持ち。対応もいろいろあっていいのです。

③ 子どもの成長・発達によって異なることがあります！

子どもによって成長・発達の状況にも差があることを理解しましょう。

④ 子どもの状況に応じて、身の回りの環境を整えてみましょう！

触れてほしくないものは届かないところにしまうなど、環境を整えましょう。

⑤ 注意の方向を変え、子どものやる気に働きかけてみましょう！

待ったり、切り替えたり、注意の方向を変えてみましょう。

⑥ 肯定文で分かりやすく、時には一緒に、お手本に！

怒鳴るより、「ここでは歩いてね」「一緒に片付けよう」などと伝えましょう。

⑦ 良いこと、出来ていることを具体的にほめましょう！

「靴をそろえて脱いでいるね」とほめたり、時には頑張りをお認めてあげましょう。

11月は『児童虐待防止推進月間』です

盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』2022年11月号
令和4年11月15日発行
発行者・問合せ 盛岡市教育委員会 生涯学習課
住所：盛岡市津志田14-37-2 TEL：019-639-9046
E-mail:edu.sgs@city.morioka.iwate.jp



初雪に
子どもははしゃぎ
パパため息



パパー！起きて！
雪だるまつくろ！

はいよ
きたか…
この季節…